

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【公開番号】特開2017-194532(P2017-194532A)
 【公開日】平成29年10月26日(2017.10.26)
 【年通号数】公開・登録公報2017-041
 【出願番号】特願2016-83761(P2016-83761)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/08 3 6 4

G 0 3 G 21/14

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月20日(2019.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

磁界発生部を中空体内に配置して表面移動し、該磁界発生部の磁力により該中空体の外周面上に磁性キャリアとトナーとからなる二成分の現像剤を担持して搬送するとともに、前記中空体の外周面における所定領域で該外周面から現像剤を離脱させる現像剤担持体と、該現像剤担持体上の現像剤の量を規制する現像剤規制部材と、前記現像剤担持体に現像剤を供給する現像剤供給部材とを備える現像装置において、

非画像形成時に、前記現像剤供給部材による前記現像剤担持体への現像剤供給を停止させ、かつ前記現像剤担持体を回転させる非画像形成時回転動作を行うことを特徴とする現像装置。

【請求項2】

請求項1記載の現像装置において、

前記非画像形成時回転動作は、任意もしくは自動で実行されることを特徴とする現像装置。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の現像装置において、

前記非画像形成時回転動作は、任意の印刷枚数の終了時に実行されることを特徴とする現像装置。

【請求項4】

請求項1又は2に記載の現像装置において、

前記非画像形成時回転動作は、前記現像装置が任意の時間駆動したときに実行されることを特徴とする現像装置。

【請求項5】

請求項1又は2に記載の現像装置において、

前記非画像形成時回転動作は、前記現像装置が任意の時間駆動されないときに実行されることを特徴とする現像装置。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか1項に記載の現像装置において、

前記非画像形成時回転動作は、前記現像装置を搭載する装置の電源をオフしたときに実行されることを特徴とする現像装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の現像装置において、

前記非画像形成時回転動作は、前記現像装置を搭載する装置の電源をオンしたときに実行されることを特徴とする現像装置。

【請求項 8】

潜像を担持する潜像担持体と、該潜像担持体を帯電する帯電手段と、前記潜像担持体上の潜像を現像する現像手段とを有する画像形成装置において、

前記現像手段として、請求項 1 乃至 7 のいずれかの現像装置を用いたことを特徴とする画像形成装置。